明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可 （日刊） 日曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年七月八日（木曜日） 第百五十五號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●六月下旬外國貿易（二）

本年貿易額の港別並に輸出輸入重要品左の如し

港別

港別	輸出額 圓	輸入額 圓	計 圓
仁川	四六、六四七	四八四、六〇八	五三一、二五五
釜山	九六、五〇四	一九五、一八六	二九一、六九〇
元山	六二、七五二	六七、〇九一	一二八、八四三
鎭南浦	七四、一六九	六四、〇四六	一三八、二一五
京城	二、七六八	九六、九〇〇	九九、六六八
群山	一六、九六二	二一、三六七	三八、三二九
木浦	一〇、〇三五	二一、二四五	三一、二八〇
馬山浦	一、一二四	五、八〇八	六、九三二
清津	七七四	三九、六三三	四〇、四〇七
城津	一〇、三四三	四、六四二	一四、九八五
新義州	二一、二〇九	一六、〇九七	三七、三〇六
計	三四〇、二六七	一、〇一八、六一三	一、三五八、八八〇

輸出重要品表

品名	本年分 圓	前年同期 圓
米	九一、三二七	一五九、一九五
大豆及小豆	八三、九六六	五一、四二二
鮮魚乾魚及鮮魚	六、六二五	二、九二九
棉花	—	八七一
牛皮	一〇、一二五	六、二九九
人參	—	—
生牛	一八、六〇六	三三、一三三

輸入重要品表

品名	本年分 圓	前年同期 圓
食鹽	九、七七八	一〇、〇三二
酒	三〇、五三三	三三、二九九
砂糖及精糖	二九、五四九	二〇、七七四
打綿	二、六二五	二、三五五
生金巾及シーチング	五六、二八五	八〇、三三六
晒金巾	一八、三三六	二〇、一三三
日本木綿	三三、〇三七	二六、三四八
麻布	三七、八九五	一三六、三三三
絹布	一九、六九一	二〇、三二〇
烟草	三八、六六九	四五、九三三
石油	五、一八二	一、六〇〇
マッチ	八、五五二	九、九三〇
石炭	一六、三九六	四八、二五七
木材及板	四四、七八三	九三、五一七
綿糸	九、九四一	一六、五四二
熟鐵	一二、一四八	一〇、二四三
セメント及石灰	三三、五四〇	八、一二四
紙	一九、四九二	九、三〇三

に比すれは約七割なり

●昨今兩年及平年六月の氣候

去月中仁川に於て觀測所の實測したる結果と昨年及平年六月に於ける氣候とを對照すれば左の如し

項目	四十二年	四十一年	平年
平均氣温（華氏）	六八、六	六六、四	六八、〇
平均最高氣温（同）	七三、八	七四、一	七五、七
平均最低同（同）	六〇、一	六〇、一	六二、〇
高極氣温（同）	八二、四	八三、一	九二、九
同上起日	十九日	廿九日	廿八年三十日
低極氣温（華氏）	五五、〇	五四、三	四九、一
同上起日	八日	一日	卅七年廿八日
晴天日數	一九	六	三
曇天日數	二	三	七
雨天日數	一〇	三	八
雨量（粍）	八三	八六	一三三

之に由て視れば本年の氣温は昨年に比し稍低度にして平年に比すれば更に低度なり而して平均氣温は平年との比較に於ては概ね連日低度に經過したり又天氣は昨年とは孰れも一日内外の相違なるも平年に比すれば晴天は四日少なく雨天は二日多かりし更に雨量に至りては昨年より稍々少なく平年

俳句

●掛香十句　千春

掛香や虚榮の夢にあこがるゝ
掛香やすだれを洩るゝ返し風
掛香や實に涼しげな洗ひがみ
掛香や土地の小町と呼ぶ娘
掛香や切口上の江戸美人
掛香やたしなみのよき老與侍
掛香や禿の持ちし小提灯
掛香や島渡出るにも薄化粧
掛香や靜に歩行む宮女中
掛香や源氏に在す君らしき

（新刊紹介）

●現代● 號を重ぬるに從つて体裁整ひ採題面白く趣味溢るゝ計りなり論説は何れも名士の筆に成り談叢、史料、時事寸言、海外思潮、會議子の月旦、文藝の諸欄一として活氣を帶びざる中にも會議子の月旦は取り分け面白く擒縱自在子の面目をして躍如たらしむるものあり（一卷三號十六錢東京神田區小川町現代社）

●東京經濟雜誌● 「横濱開港五十年を祝す」「移民の價値と條約改正」「都市の經營」「鼎軒田口先生傳」等は本誌の主要記事なり（一四九七號十二錢東京京橋區彌左衞門町東京經濟雜誌社）

●大阪パック● 依例奇抜なる漫畫と諧謔なる記事を以て埋む時代を揶揄し諷刺し盡して餘蘊なしといふべし（四卷十三號十二錢大阪輝文館）

●警察月報● 五月より六月中旬迄に至る警察法令、警視廳令、例規等を載せたるもの警察官に取つては必携の册子なり（十一號警務官編纂）

●滿韓の實業● 「我田引水論」「韓國土地の所有權沿革」「大連の三大工事」等其の他讀むべき記事多し（四十四號釜山辨天町滿韓實業協會）

佐倉宗吾（百廿六）

眞龍齋貞水講演

勝『ですからね、馬鹿な事を云ふやうでございますが、何だか爾う云ふやうな心持がしますと、宗五郎でも出やしねえかと、思ふやうな氣がします 文『餘計な事を云ふな手前くれえ馬鹿な奴はありやしない 勝『段々提灯の光明が暗くなりますな旦那、何だか變でございますな』と一歩は高く、一歩は低く、酩酊を致して、浮浪離々と行つて來る、すると鹿嶋口の寂しい所へ來たから中島宗四郎がヒヨイツと向うを見ると女が一人、一人の子供を十文字に脊負ひ、二人の子供の手を曳いて、而かも跣足で來る容子 宗『ハテナ、晝ならイザ知らず、夜が更けてゐる今頃、この鹿島口へ女などが往來すべき處でないが、さても不思議であるわい……ハ、ハア、扨ては此中島宗四郎を誑さんと心得ての、狐狸妖怪の所業ならん」醉に乘じて宗四郎、刀の鯉口切つたる事にて 宗『ヤヨ女ッ、汝何故あつて此邊を通行に及ぶ、晝さへ女は餘り通行なさぬ此鹿島口況して夜中に至り、此の如き處を往來するとは定めし狐狸妖怪の所業と覺れたり、汝いつかな其處動くな、中島宗四郎一刀兩斷に切つて遣す覺期に及べッ」と身構を致した時に、其女が半面をヒヨイッと宗四郎の方に向けると、顔は蒼白になつて、髮はれぞろに振亂し、兩眼血走り、半面血だらけに成つてから、宗四郎ワッと驚いて後へ退る 美『前年御處刑になりまする時は、御厄介になりましたる、木内宗五郎の妻た美禰でござる。貴下が今日は、御城代河内守様の許へ御出になりまして、御酒を召上りながら良人宗吾を初め、妻共の御噂をなされ、頻りに罵り仰つしやいましたが、妾共聽く云はれる覺えは、身に取つて聊もございませぬ唯もう御政治が改りさへ爲ますれば、それにて有難く存じまする、それを何ぞや、宗吾奴が何か惡事でも致したやうに罵つて御居なされたに依つて、唯今御歸りを御待ち申し、貴下が御出になつたら、御禮を申し上げやうと此通り子供等を伴て此處まで罷り出ましてございます」と恐ろしい凄い顔で睨れたからキャッと云と宗四郎が尻餅を搗て鹿島口の御溝渠の中へドオーンと墜落と云ふと溝渠へ轉げ落ちた、幸ひ夏の事でございますに依つて水が少かつた故、道上る事が出來ましたから、三人は雲を霞、一生懸命トッ〱〱 勝『文太夫様 文『勝公見たかい 勝『ヘ、見た所ぢやございませぬ、驚きました……中島さアーん…… 文『止しな此野郎ッ、れぞかしやがつて…恐ろしい驚いた 宗『コレ〱其方共 文『へ 勝『へ 宗『決して此事は他言しては成らぬぞ、宅へ戾つても、宅の者へ此事を申しては成らぬぞ 文『へエ、宜しうございます、隨分旦那様、凄うございました 宗『アー驚いた……ア勝助何うした 勝『如何に勝助でも、是には少し驚きました……、中島さアーん…… 宗『止せッ此野郎、怪しからぬ奴だ、併し燈火が無くちや、歩けぬ、眞暗で困るア、今夜は變な晩だ」と、鹿島口の御門の處へ漸く來りまして、宗四郎凄くて耐らぬから 宗『門番ッ、門番、門番ッ 門『ハイ、誰様で 宗『ア、中島だ 門『エ、中島様でございますか、今日は御城代様へ御出になりました由で」、唯今御歸りでございますか 宗『ア、唯今歸つた、一寸灯提の燈火を消したから、蠟燭に火を點して呉れね 門『へ畏りました」と、門番は臆病窓と謂ふ小さな窓を開けまして 門『何卒蠟燭を此方へ」一文太夫が 文『旦那様、私が……」と云ふのを宗四郎が 宗『イヤ宜しい」と云ひながら 宗『門番ッ、是へ點けろ」燈火を點けまして門番が 門『何だか恐ろしい薄暗い晩でございますな 宗『然うだよ 門『今夜は十三日で、月がございますのに、何うして斯樣に暗いのでございませう 宗『ムー、何だか變な晩だな 門『唯今燈火を點けます、嫌な晩でございますな 宗『マア宜い、文句云ふ所でない、早く點けろ」

下岩橋村佛國寺附近なる「光至ヶ岡」なり俗に光金成沼邊の柳の遊に身を投じたるものなりと傳ふ

▲夏季飲料 ブランデー・ブドー酒・ウイスキー・シヤンパン キリンビール・金線印サイダー・シガー・シガレット

卸小賣

歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草 帽 金銀細工美術品

直輸入商

京城本町二丁目 同 三丁目

辻屋

本店 電話二四八番 支店 電話三六六番

朝鮮紳士錄

京城理事廳認可 豫約特價金參圓 總クロース金文字入

豫約募集

本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載致候

申込締切期日 八月十五日
送本期日 九月十五日

登載事項（政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、教會、寺院、協會、俱樂部組合）

發行所 京城西小門通 京城新報社

豫約申込所
本町一丁目 日韓書房
本町二丁目 文林堂
新王城前 盛文堂
北署安洞 大韓書林
中署廣橋東邊 滙東書館
中署罷朝橋越邊 中央書館
南大門通 義生盛號

本紳士錄（交詢社式）には韓國各地在住の日韓清英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の座右に缺くべからさる要書に有之候

豫約募集

明治廿年七月創立

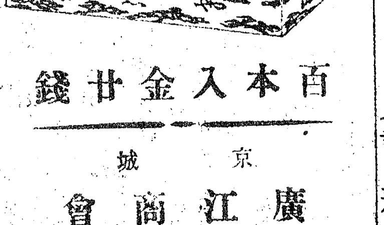
東京海上運送保險株式會社

京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九

資本金一千萬圓 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

中元の贈答用に好適

卷莨 八島



百本入金廿錢

京城 廣江商會 電話五七六番

最上醬油

前統監樞密院議長公爵伊藤博文閣下新任統監子爵曾禰荒助閣下送迎の爲來る十二日午後五時より和城臺公園に於て大園遊會開催致候條御贊成の諸彦は來る十日迄に會費金二圓相添京城居留民團役所内送迎會事務所へ御申込相成度候
追て服裝は羽織袴又はフロックコートのこと

明治四十二年七月二日

送迎大園遊會事務所

廣告

▲美術半衿帯上 其他 紐類各種
京城明治町一丁目
ゑり徳商店

京城新報

伊藤公の演說

統監邸晩餐會に於ける伊藤公の演說は例によりて其修辭は極めて巧妙なり、然れども亦例によつて其所說兎角に鮮明を缺げるは甚だ遺憾なりとす、「余の始て大命を奉じ統監の職に就きたる當時余は至尊並に我政府當局に對し長く衰朽を以て大任を完ふし得ざるも施政の大綱を定め其端緒を啓くことは敢て辭せざる旨を以て答へたりき云々」と、余輩は此事は既に屢々公の演說により世說によりて聞きたる所にして、今更に重ねて公より聞かざるも既に充分知悉せる所也、遁は唯公の經歷に於ける誇りと見るの外あらず、「一昨年九月韓國の後事を重ずる爲に官制を改正し副統監を置きたり是れ統監の養子を入れたるに異らず則ち今日は血緣的にあらずして官職上の養子に家督を相續せしめし也」と、是れ新統監の相續理由の說明なるべしと雖も養子を迎へたる時に養子の披露をせずして既に家督相續を了したる上にて披露をなす聊か奇異の感なくんばあらず、「新統監は今後益々日韓親善を計り韓國皇帝及び韓國民の爲に盡力すべきを疑はず是迄余の命に從ひたる者並に中心我に反對するも職務上從へる諸君は宜しく新統監の命に服し職務を全ふせんことを望む」と、是れ讓任挨拶として最も當を得たるもの、而も其間自已に中心服從せざるものありしを看破し居られたることを自白せり、余輩は此機微の自白に於て新統監が部下の精撰に心を用ひざる可らざるを感ぜざるを得ず、而して公は最後に例の日韓一家說を述べ此主義を全東洋に及さんと欲すと云ひ韓皇の親輸中にも日韓利益共通の詞あり、我　聖上陛下にかせられても日韓の調和を計るべしとの御沙汰ありしとのことを述べ添へらる、公が晚近日韓一家說なる新熟語を唱へ出されたるはよし、然れども其意味甚だ不鮮明にして或は恐る其不鮮明なる爲に終には相互に疑惑を生ずるの憂なしとせず、一家說とか利害共通とかの熟語は今更新らしく唱へざるも、日韓第一協約には優に此意味を有するの條文あり、唯今日に於て要する所のものは日韓兩國の關係を鮮明に標置すること也、此關係を明にせずして表面唯利害を共通して一家の如く親睦せよと云ふも、唯夫れ云ふに止まりて其間依然として溝渠は撤せられざる也、相互に其覆面を脫して異個に兩國關係の立場を明にして韓人に之を納得せしめ其間に疑團を氷釋せしめば指導啓發亦易々たり、是れ半島統治の第一義也、然るに公の言說や常に何となく不明瞭也、公に於ては或は是を以て巧妙の辭令となさんも其實之が爲に統監政治は躓かんとす、余輩は公が最後の花として其眞意を直截に披瀝して日韓の關係を闡明せられんことを希望するもの也

▲瀆職議員控訴

東京電報　佐藤虎次

二、横井時雄に對する刑の執行猶豫を棄却し長谷川豐吉、川島臨夫の運動費要求の無罪判決に對し控訴したり（以上七日

國鐵道に依り輸入する露國煙草とし二は浦鹽を經て輸入する外國煙草とし三は南滿線

由外國製品は一箇年約三千五六百封度價格五萬留にして比較的高價なるも南滿線を經

價格百二十餘萬留と見れば大差なかるべし

●東拓總裁の送迎會　東拓會社總裁宇佐

して大久保軍司令官、各部大臣、各參與官西島師團長、村田、外波兩武官、古谷、國分、

ルーター電報

▲布哇同盟罷工の復業

布哇に於ける同盟罷工の失敗に就ては帝國總領事、增給期成同盟會、日本字新聞商人同志會等皆責任あり今日に至つては無條件にて復業の外策なきも日本人の侮るべからざるを示せるは事實なり（七日午後東京經由）

上海電報

▲湖北省大水害

湖北省一帶の地霖雨打續き長江大洪水となり家屋流失し京漢鐵道線路破壞され滊車不通となり頗る慘憺たり（七日午前東京經由）

東京電報

▲梨本宮來韓期

梨本宮殿下には九日ハルビンに御着あらせられしが目下滿洲は雨期なるを以て御視察期短縮の上十五六日頃御來韓あるべし

▲二官制の可決

本日樞密院會議にて馬政局職員任用令及樞密院議長專任秘書官を置く事の二官制を可決す

▲古谷氏の轉任

古谷久綱氏は本日樞密院議長秘書官に任せらる

▲中銀創立委員

韓國中央銀行創立委員長澁澤榮一男以下創立委員三十餘名任命さる澁澤男渡米迄に一切の創立事項を終了せしむる筈なり

▲日韓瓦斯株主總會

日韓瓦斯會社は來る廿一日東京に於て臨時株主總會を開き韓美電氣會社引受けに關する件及び第二回株金拂込に關する件等を議する筈なり

▲起業ご共同請負

對清國起業組合は不日成立する筈にて粤漢鐵道工事に對しては清國に於ける英國某シンジケートと共同請負をなす計畫ありと傳へらる

▲高平大使召還說

高平駐米大使は日米條約改正に就きて歸國するに非ずして他に轉任の爲め召喚せられたるものなりとの說歐米に於て盛んなり

▲竹子女王降嫁

北白川宮竹子女王殿下は子爵保科政秋氏へ御降嫁の內約整ひ近日勅許を奏請する筈なり

▲答禮大使招宴

清國答禮大使は今夜芝離宮に伏見、東伏見兩宮殿下を招き留別晚餐會を催さる

▲堀田子の宣言

研究會の堀田正養子は昨日宣言書を發表したるが多分中立團体を組織するに至るべし

▲高商教授渡韓

長崎縣高等商業學校教授武藤長三氏は淸韓へ出張を命せらる

▲水產學校敎諭渡韓

島根縣水產學校敎諭鶴井駒二氏は韓國へ出張を命せらる（以上七日午后發）

雜報

●伊藤公退京期

伊藤公は來る十四日古谷秘書官を隨へ日高內大臣秘書官、森宮相秘書官と同道京城出發仁川に赴き滿州丸にて歸朝の途に就かる豫定なりと

●三税と領事會議

韓國政府が曩きに發布したる三税施行に對して在京城の各國領事即ち白、清、英、米、佛獨、伊及露の八ケ國總領事及領事は六日白耳義領事館に會合し協議する處ありしが結局之れに從ふ事に決定したる由にて施行の區域に就きては統監府に交涉する筈なりと

●各理事官會議

統監府にては七日午前九時より理事官會議を開き石塚長官代理より一場の訓示あり休憩后協議事項に移り午後散會したるが尙向ふ四日間會議を開く筈なりと

●韓皇の伊藤公見送　伊藤公歸國の際韓皇には特に南大門驛迄見送るべしと

●內閣會議の開會　六日伊藤公曾禰統監の退閑後李總理以下各大臣內閣に參集して閣議を開きたりと

バイカル湖畔に避暑し序に露都を訪はんとする
大阪毎日新聞社長
本山彦一氏

●觀察使會議開會期　去る五日を以て開會すべき筈なりし觀察使會議は伊藤公來京の爲め延期となりたるが愈來る十日より開催すべしと

●郡の廢合と內相　郡の廢合に就ては現內部大臣は消極的の意見なるを以て或る必要の場合の外廢合は行はざるべしと

●鐵道廳ご退官賜金　鐵道廳に於て曩に退官したる技師磯秀太郎氏外三十名に對し五日附を以て夫々退官賜金を送りたり

●團隊長會議終了　第六師團司令部にて開會中なりし團隊長會議は六日を以て終了せり

●新舊統監ご領事　在京城の領事等は別項記載の協議會に於て新舊統監の送迎會を開くことに決定し時日は目下交涉中なりと云ふ

●廣梁灣事件の解決　廣梁灣の鹽田に使用したる淸國の苦力逃走事件に就きては先日來清國總領事と統監府との事に於て交涉中なりしが今回解決を告けたる由

●豪雨ご地方民情　七日公州財務監督局長より農商工部司稅局長に宛てたる電報に依れば「地方旱魃の爲め農產物の植付不可能にして民情騷しかりしも昨夜來の降雨にて官民愁眉を開く」と

●郵便局長會議

統監府通信管理局にては各地局長に對し上京を促し八日より局長會議を開き郵便事務の打ち合せをなす由

●宮中大夜會開催　宮內府にては伊藤公送別の大夜會を仁政殿西行閣に於て開催する筈にて目下開會の日取に付いて統監府と交涉中なるが既に十二日迄は日程確定し居るを以て或は中止さるべしと云ふ

●水利組合の廢止　水利組合の存置に就ては尙早說と擴張說との二說に分れ未だ何れとも結着せざるが現行光武十年三月度支部令第三號を以て發布せられたる水利組合條例に改正を加ふるとにすれば勢ひ公共團体として之を認めざるを得ざるを以て目下の地方狀態に照らし尙早となし尙今後とも調査することとしたり

●在韓外國人國籍別

內部警務局最近の調査に係る在韓外國人國籍別を記すれば左の如しと

	清	米	英	獨	佛	合計
官吏	六三	九	一〇	七	五	九四
布教	二	一八二	六六	一	三八	二八九
商業	二、四二〇	一七	五	九	三	二、三八九
工業	四二二	四	―	五	一	四四八
農業	五二二	―	―	―	三〇	五一六
鑛業	―	三三	一〇	―	四	四七
其他	三、二七六	七三	六一	八	三	三、四二一
計	六、七〇五	三一八	一五二	三〇	八四	七、二八九

尙本表の外白耳義人官吏三人諾威人鑛業五人露國人官吏十人希臘人商業十一名伊太利官吏三人鑛業一名居る由

●警察署長の大交迭　觀察道所在地の警察署長は道警察部長兼任し居りたるが斯くては警察事務の敏活を計る上に不利益なるを以て今般警部の專任署長を置くことになり一兩日中發表の運びに至る筈なるが之れと同時に警部の大交迭あ

るべしと云ふ

●紀念繪葉書發行　統監府通信管理局にては伊藤公爵留別會副子爵就任披露園遊會の當日（十日）紀念繪葉書を發行する由右繪葉書は二枚一組にて一枚は新舊統監の寫眞を現はし他の一枚は統監旗と統監邸の寫眞を顯はしたるものにて當日は京城、光化門、南大門及西大門の各郵便局をして紀念日付印を使用せしめ尙ほ七月十五日迄は公衆の需めに應じ一錢五厘以上の郵便切手を帖用せしものに對しては該印を押捺せしむるとの事なり

●各理事官の宿所　今左に上京中の各理事官の宿所を揭げんに釜山龜山理平太（南山町森勝次方）馬山三增久米吉（京城ホテル）群山天野喜之助（不知火旅館）木浦松本重敏（巴城館）仁川信夫淳平（京城ホテル）平壤若松兎三郎（巴城館）鎭南浦秋本豐之進（明治町山本旅館）元山久水三郎（南山町天眞樓）城津大枝義銛（同巴城館）大邱熊勢辰五郎（京城ホテル）新義州深川傳次郎（壽町浦尾旅館）淸津中大路正雄（南山町巴城館）

●頭本元貞氏送別會　國際新聞協會にては去月三十日午後七時より近々渡米すべき元スオルプレス社長頭本元貞氏及馬場恒吾兩氏の送別を兼ねたる晚餐會を催うしたるが席上德富氏の挨拶に對する頭本氏の答辭あり歡を盡して十時散會せりと

●漢城倉庫會社總會　漢城共同倉庫株式會社にては來る十七日より天一銀行樓上に於て總會を開く由なり

●元山大棧橋架設　元山稅關にては速成工事にて大棧橋（幅十二間、長百五十間）を架設する事に決定し着手の筈なるが工事費は約参拾萬圓の豫定にて十月迄に大部の工事を終るなりと

●警部登用試驗施行　警務局にては目下缺員となり居れる警部の內十數名を採用し順次發表中なるが殘餘の缺員は管內の巡查にして內地を通じ二年以上其の職に在りたる者にして其成蹟優秀の者を擇び八月一日を以て各道警察部に於て豫備試驗を擧行し合格者は更に內部警務局に於て筆記、口頭の採用試驗を施行すべしと云ふ

●韓南農作成績

韓國各道に於ける本年麥作の狀況は大要左の如し

▲慶尙北道　秋麥は既に收穫を了り春麥は未だ其幾分を殘せり作柄は昨年に比し不良なるも平年作と認めらる其原因は兩作共開花の頃迄は生育順當平年以上の豫想ありしも其後旱害の爲め結實甚だ不良に陷りたり又移秧狀況は當地方の移秧期は通常六月廿日頃より七月十日迄の間にして早稻は大抵六月二十七日頃迄に之を了り本年も既に大抵之を終了せり晚稻は未だ十分の一をも了らず其原因は由來當地方は天水に據る水田大部分を占むるを以て頃來旱天の爲め用水を枯渴せしに依（る）僅に移秧を了りたる分も頃來田面龜裂漸次凋萎の模樣ありたるも本月中旬以降數回の微雨と去る廿八日並に昨日の降雨は大に之を回復したるを以て向後多少の降雨あるに於ては移秧には著しき損害なかるべし

▲忠淸北道　麥作は平年に比し豐熟なり其原因は氣候順なりしを以てなり水稻挿秧は平年より稍遲る其原因は降雨少く用水の不足なりしが故なり頃日に至り挿秧約六分通りを終る

▲忠淸南道　麥作は玆二三年以來の凶作にて既に三分の二は收穫を終りたるが麥實の如き平年作に比し約二割方の減收にして其原因としては播種後雨量極めて少なく爲めに氣候乾燥甚だしかりしを以て生育運々として進まず從つて株張少なく發芽整一を缺きたるに起因す

●國有盜伐材入札　平安北道寧邊郡に於ける韓人の國有林盜伐材六千餘本を農商工部山林局に於て今回入札に付する筈なるが詳細は八日の官報を見るべし

●各道主事の變迭　黃海道三木主事は江原道に平安南道齋藤主事は全羅南道に全羅南道本司主事は平安北道に江原道平田主事は咸鏡北道に慶尙北道鮫島主事は黃海道に黃海道大崎主事は義州郡に各々五日附を以て轉任を命せられたり

●會寧病養所設置　今回軍司令部の意向に基き會寧に日韓人病養所を新設する事に決し十日より着手の筈なりと

●ベッセル未亡人歸國　ベッセル未亡人は不日歸國する筈なりと

●軍司令部の講話　軍司令部附竹本步兵少佐は七日午前九時同部樓上に於て機關銃に關する講話を爲したるが出席者は大久保大將明石、香川、須永三少將佐藤師團參謀長森同參謀甲斐同副官五十君第十三聯隊長光井兵器廠長宍道韓國軍事敎官其他各隊將校九十名なりしと

●コールブラン氏留別　去る五日夜コールブラン氏は不日歸國に付留別會を同邸に催したるが來會者は英米露獨の各總領事同夫人駐仁露領事及電氣會社員等にして午後十一時散會せりと

●慈善活動寫眞會　李中樞顧問尹學務局長兩夫人等の發起にて來る九日午後八時より鍾路靑年會館に於て慈善活動寫眞會を開く由

●早稻田大學三八會　早稻田大學三十八年度得業生は舊情を溫むる爲め今回三八會を組織したり

●光濟號の仁川歸港　仁川燈臺局附綠江方面に燈臺建設材料を輸送中なりし光濟號は五日午後一時三十分仁川港に歸港せり

●軍艦滿洲丸の入港　伊藤公を載せて鎭海灣馬山浦に碇泊中の軍艦滿洲丸は七日仁川に入港の豫定なるが同所に於て伊藤公の歸朝を待つ筈なりと云ふ

●救世軍將校の來京　韓國救世軍本部は宗務擴張の爲め近日本國より救世軍將校五名來部することゝなれる由なるが向軍にては韓人傳道師採用試驗を來る十五日行ふ筈なりと

公人私人

▲田中讓（造船技師）　六日入京對松館へ
▲田中鐵士（新義州郵便局長）　郵便局長會議に列席の爲め六日入京三日月へ
▲志賀良三郎（釜山郵便局長）　同上浦尾へ
▲岩城竹治（木浦郵便局長）　同上
▲土屋愿郷（群山郵便局長）　同上
▲白石元二郎（財務官）　六日入京牧野へ
▲木下重秘（釜山稅關監務官）　同上浦尾へ
▲豐島愿（佐賀縣事務官）　同上
▲深川傳次郎（新義州理事官）　同上
▲若松兎三郎（元山理事官）　同上巴城館へ
▲中原貞三郎（內部技監）　同上
▲飯田章（京畿警察部長）　上京中の處歸任

近事片々

▲頃者　豪雨降り農民喜ぶ平壤以南は概して多量の降雨ありしと是にて稻苗活氣付く
▲此降　雨前群山附近にては日韓人共同して明月山に雨乞を爲せりと何となく詩的也
▲韓皇　の旱魃に就ての詔勅は地方農民に達せられて農民等洪厚の仁德に感泣せしと
▲伊公　來着以來宴會又宴會嘸や老体の疲勞と察する外あらず平靜の休養あらせまほし
▲綠泉　亭久しく孤獨を憫む今や新舊統監を迎へて俄に盛賑を極む庭前草花活氣生ず
▲中央　銀行設置に就て新に締結せらるゝ日韓協約不日發表せらるべしと其內容如何
▲韓國　法律の司配を受くるも韓國政府が勝手に經營する能はざる爲の協約ならんと
▲各道　觀察使來集す會議は伊公出發の後也との說有彼等新舊統監に對する感想如何
▲理事　官連も韓京に集る夫れから夫れと地方の御客で宿屋繁昌幾分京城市民に潤ふ
▲日淸　懸案問題の紛糾は協約不備の爲也余の責重しと小村外相語る此處聊か男らし
▲只責　の重きを感ずるのみにて現在の儘解決せざれば何の益にたゝず喬起すべき也
▲清國　問題は只に協約の不備のみに非ず全く外交手腕の拙劣なるが最も大原因とす
▲尾崎　學堂曰く非政黨派を壓伏して上下兩院に二大黨を樹立せしむるが目下の急務
▲政友　會にして此說を容るれば余は復黨して大に努力せんと乍每度習眼は頗る妙也
▲醜類　多き政友會が善く尾崎の如き淸廉の士を容れて重要の地位に置き得るや否や
▲露國　中學生日比谷中學を訪ひウラーを叫ばれ嬉しき餘り共にウラーを大聲に叫ぶ
▲其聲　九重の奧に響き其所以を聞てし召され御感斜ならざりしと僣も嬉しき音づれ
▲獨逸　宰相ビユロー公頃者辭意切なり皇帝之を痛く惜まる左もあらん賢宰相の辭意
▲ビス　マルク以來の名宰相此人ありて能く獨帝を補佐して功を擧ぐ非凡の外交手腕
▲ツエ　ペリン伯飛行艇によりて北極探險を企つ其雄圖欣ずべし我華胄此種の人なし

▲棄却と控訴

…郎、小谷愛次郎、栗原亮一の三名は本日控訴したり 檢事は江崎禮…

(夕發)

◎北満の煙草輸入高

北満に於ける煙草の輸入は三線あり一は露…道に依りて輸入するもの、米、満三國產の煙草にして露國煙草の輸入數量毎年平均五萬六千五百封度內外價格九十五萬留浦港經…るものは孰れも頗る低廉にして其數量は七萬五千封度價格七十五萬留內外なるに依り北満の煙草輸入高は十三万五六千封度…

…川男爵以來る九日午後六時より…倶樂部…摘翠樓に招待し送迎の宴を開く由…なることは既記の如くなるが當日は陪賓と…餘名を招待する由

●配達出拂 午後七時四十分

▲相談の相談▼ (何んでも御相談に應じ升)

◎問 私には本年七つになる女の子と五つの男の子があるのですが妻は女の子を好まんで男の子ばかり可愛がるから女の子の方でも妻に馴染まんので他に不足の無い家庭に風波が起りて困ります因に女の子は温和く剛情の方なので少々勝氣の妻と意氣が合はんのですが何うしましたら平和な間になるでしょうか甚だ面倒な御相談ですが御一考を煩はしたい(開城一老夫)

◎答 難問題、否困難な御相談です、奏効の有無は別問題にして此の答へをれ聞き取り下さい、私の知つた人で此の問題で苦心して成功した實例を申し上げると、妻君の可愛想召す男のれ子さんを遠けて後、妻君が多少女のれ子さんに辛く當られても貴君は之れに口出しせず妻君の心のまゝに任せてれ置きなさい、貴君は氣が附かずに居られたらうが屹度貴君は女の子さんに厚く妻君が其のれ兒を叱られる時なぞ口出しをなさる妻君は兒の前で自分が叱られるので反動を起す從つて反目の種となつたに相違ないと思ふから放任するに限る又男の子を手放すのは妻君に心細い感を起さして女の子さんに愛を傾けさせる一法で更らに女の子が男の子に姉さん面を振り回さんから可愛くなると云ふ順序です、絶對に手放すことが出來ねば貴君が男のれ子さんを連れて故郷へでも避暑旁々二ケ月も旅行するですな、一つ試みて御覽なさい(係)

◎問 わたしわていしにすてられ子ひとりつれてこまてをる子は三十ゑんもやればもらてくれるがかねがないからふたりともしぬばかりどしたらよいかしらしてください(二十六女)

◎答 酌婦になつて金を借て其の子を他人に遣りなさつたがよろしい死ぬよりましだ(係)

●薩摩丸の坐洲

▲潮流の爲め押流さる

既報の如く關釜聯絡滊船薩摩丸は下關沖合に碇泊中去る三日夜七時乘込の船客三十名を先づ乘せ次で九時最終の客を乘せんとするに際し時は既に滿潮にて急激なる潮流矢を射るよりも疾く俄然薩摩丸の錨鎖は斷たれたり船長の驚き常ならずして直に二本の錨を投じたるも急潮に抵抗すべからず兎角する內押流されて巖柳島の淺瀨に乘上げ艫部は船首より四呎許りも上りたれば船客の驚き船員の狼狽一方ならず先づ船客を上陸せしめ取敢ず關門聯絡船や水上警察其他の十六隻の滊艇にて引卸にかゝりたるも四日午前二時に至るも其の効なく晩に至り百六十噸の荷物を卸し滿潮に乘じ數隻の滊艇は再び全力を盡したれば之にて漸く浮揚りたるが差したる損害なし又急潮に押流されたるは其の錨鎖を繫ぎたる浮標の輪が自ら腐蝕して鎖を離れたるによりと此の代船として四日午前十時壹岐丸を差立て四日夜は對馬丸を差立てたるが其の後引卸功を奏し損害は極めて僅少なりしと

紳士の遊興振

▲古橋久三君

大日本麥酒會社韓國販賣監督の君は元朝日ビール社員で大日本合同の成立つ迄は大坂に在り東京、札幌の强敵を迎へて克く戰つた者である、何爲札幌には植村と云ふ非常な辣腕家があつて札幌を以て本邦ビール界を席捲せんとした併し能く戰つた朝日の實力には如何共する能はず暫し睨み合の姿であつたが遂に双方競爭の不利益を悟つてトウ／＼合同する事になつた合同後の君は雅量坦懷全く別人の如く剴據的行動を捨て純粹な大日本麥酒の人となつた元來ビールは栓を拔けば泡を吹き出す程の陽氣な品物なればこれが販賣に從事する君は成程れ手前者で腹は隨分太つて居るが其遊振は泡を吹くと反對で極めて地味である先づ其得意とする處は一中節次は長唄である君の一中節は既に苔が生へて居るが長唄に至つてはまだ／＼前途遼遠だ或人君の長唄を評して內地の滊車の轍であるナゼかと問へば一段唄ふ間に少なくとも四五回は脫線するからだ併し此脫線が却つて愛嬌となり今では得意の一中節よりは長唄の方が評判になつて居るぞ、君にして之を聞かば定めて鞍馬の天狗になるであらふ、序に君は商賣柄料理屋へは絕へず出入するに不拘何等艶聞を聞かないそれも其筈難波津には安からぬのが始終君の出先を心配して居るからだ……(投稿歡迎)

次は荒井度支部次官

◎五百名憲兵隊に押寄す

▲土地測量拒絕の爲め

平北龍川郡府南面中興洞附近國有地調查の爲め出張したる土地調査委員岸本陽吉、技手金信坤兩名は六月廿九日同地小作人の立會を求め境界を區別せんとしたるに彼等は之を拒絕するのみならず却て大に激昂して附近の村民約五百名の集團龍巖浦憲兵分遣所に押掛け測量中止を請願したるを以て所員は委員を選ばしめて調査委員と交涉せしむることゝし解散を命じたるに彼等は更に財務署に押掛け夜半に至るも撤退せざるに依り憲兵等再び解散せしめたるが尙ほ不穩の模樣あり警戒中なりと

●製材所の火災 (會寧)

▲損害額四万圓に達す

七月五日午後一時三十分會寧林廠會寧製材所工場より出火し二棟を燒盡して三時に至り鎭火したるが原因は石油發動機のエンヂン破裂にして總損害は四萬圓に達す尙日本人職工輕傷二、韓人輕傷二、重傷一、淸人輕傷二、重傷一にして淸人の重傷者は生命覺束なし製材は石油發動機据付迄は中止せざるべからずと

●財布を拾て屆出づ

仁川東本願寺の僧侶楚良慈恩氏は一昨日午後八時頃本町四丁目にて金一圓七十錢入りの財布を拾ひ仁川署に屆け出でたるが右は旭屋旅館方渡邊喜作の所有品と判明したれば兩人立合の上下げ渡す

●若後家の亂行

仁川は新町一丁目に溫泉に因める家あり此家の後家れ何と云ふは昨年の末大切の良人に先立たれ今では寺參りの殊勝さに近所のものは世にも珍らしき後家さまかなと讃めそやしたるも束の間れ何も本年とつて二十後家ならぬ三十後家の百ケ日過ぎし頃には早や男戀しくなりて獨り寢の寂しさを喞つ風情のいぢらしさ茲に仁川郵便局に出勤する山畑とか山田とか名前を云はずとも仁川の居家喰ひとのみ云へばウムあの男かと諾かるゝ男れ何の男戀しき風情を見て偖てこそ近來になき獲物かなと女房子もある身を持ちながら事に托して同家に出入りし吹かば散りなん後家のれ何を口說きたり然るに茲に又此頃稅關勤むる布木と云ふ若男何所から傳手を求めたるものにやれ何の家に出入りし初め果ては近所なるれ何の家を借り受けて本據となし非番の日には朝かられ何の家に入り浸り不義の快樂に耽けり居れるが近所では二人の情夫及び田山の妻と後家の間に近く大悶着が起るべしと評判し合へりとの投書を其の儘書くの如し

●列車內に氷水

鐵道廳にては來る十一日より暑氣中京釜、京義兩線の急行列車一、二等車內貯水器に氷を溶解し置き一二等乘客の飲料に供する筈なりと

●酒井政平破産事件

天一銀行の請求に依り京城理事廳に於て同人に對し言渡したる破産宣告に付き酒井より法務院に抗告したる處七日同院に於て抗告の理由なしと認められ却下せられたり

●夫婦喧嘩の訴へ

去る六日午后九時五十分本町六丁目二十六番戶菓子製造業善家ウノ(四十)と云へる者永樂町派出所へ出頭し只今內縁の夫橋本駒之助より毆打されたれば御救助に與りたしとの事に即時警官出張取調たる處毆打されしとは僞りにて家內不和の爲め離緣の談判せしを斯く訴へたる者と判かり双方共說諭を受けたり

●新町の入院女郎

新町遊廓にては去る六日定期檢梅の結果省春樓の笑助、夏子、小櫻第一樓支店の園枝同本店の緋櫻、淸月の彌生、粲、南山樓の衣枝は入院治療を要し其他入院を要せざるも病氣の爲め治療を受けしものは十八名にして南山樓の小福は全治退院したりと

●滑稽斯聞の週刊

既に二號を出したる韓國滑稽新聞は今回大擴張を爲し來週より一週一回宛發行し四頁若くは六頁となし尙ほ月一回宛從前の如き雜誌を增刊として發行する筈なりされば此際購讀者は本町六丁目同社支局に申込むべしと

●公判だより

明九日法務院に於ける公判は左の如し

民事(午前十時) 一、典當契約證明、記帳抹消請求、上訴人堀川正吉、被上訴人加藤嘉兵衛

刑事 一、詐欺、被告人大神よし 二、不法逮捕安藤市吉

▲生きながら葬式を營む

島根縣に退隱歸臥せる陸軍少將熊谷宣德氏はかねて生前に自分の葬式を執行したしとての準備をなし居たるが本月四日午前同氏の親族その他知己朋友知れる誰彼に案內狀を發して參列を乞ひ自宅を出棺して同町常安寺に赴き多數の僧侶を本堂に參列させ正式に讀經の後導師は生きたる少將を正座に引き戾に引導を渡して式を終りたるが氏の此奇拔なる行爲に對し知己その他より香花を贈るものまた頗る多く地方にて奇しき行ひとして評判喧しと

◎時事俳評 ちはる

△伊藤公の辭任演說
昨日今日泣く事多し靈祭

△中央銀行事業の性質
門涼み坊は人形ならべけり

△日淸關稅の無根
燒きのぬれ衣もあり夕涼み

△安奉線と當局決意
勢ひたつ路傍の草や驟雨

△讀者記者相談の相談
涼み臺てせくり合ふて面白し

演藝

▲田宮一座は一昨日開城へ乘込みたり ▲永樂亭辰丸の浪花節相變らず好人氣 ▲歌舞伎座に乘込む美當一調は豫定より着京遲れしかば初日は多分十一日頃ならんと ▲京城座 七日八日兩日は『心の影』にして役割左の如し 小關須平(松村)同恭一(橋本)きみ子(眞郎)れ豊(横山)車夫吉三(青山)江川三次(稻葉)岸山由太郎(郡)梅小路(吉野)政子(横田)須磨子(東)幸一(村上)石堂健作(瀬川)

▲文士の啓春樓襲擊 老公

太平有客唱繁華
粉車香閣酒又奈
文士風流狂杜似
皆春樓上醉眠花

▲平民文庫▶

▲新規開市したる靑物市場に赤帽子チゲクンを置きたる大に我が意を得たものである、商賣は品質を吟味し、價格を低廉にし、と、丈けでは未だ至らざるものがある、品物を賣ると同時に如何にせば此れが安全に客の家に持ち歸れるだらうか、と云ふ點迄注意を拂はねばならぬものであるとの主張を持せる僕は赤帽子チゲクンを置きたる靑物市場の擧を稱揚する(理屈屋)▲天氣豫報は掲せぬ樣にして下さい揭つてゐるから見ると當にすると外れる外れるが爲めに損する腹は立つ一つも得る所がない(愛讀者)▲當地の飲料水にど砂やなにかが非常に多く入つて居るが差し支へ無いのかしら安くても惡ければ何にもならんと思ひますが(衛生家)▲各錢湯業者に望む、彼の使ひ湯桶をモ少し深いのに改良して貰ひたい(入浴子)▲擲翠は藝者や料理は兎に角として新築で客を招ぶ花月は藝妓の上品なので請華はツント氣取らないのと分りが宜いのとで何れも一方に覇を稱して居るのだ(ヨカヨカ)▲藝妓芝居はビールの廣告で振つたキリンビールは上場の藝妓を利用し、大日本ビール會社は數十の岐阜提灯に毎日毎夜上場藝妓の名を書いたのを吊し列ねた、兩者が常に機會さへあれば其商品の廣告に腐心して居る熱心さは感服の外ない、と家の旦那が酷く感心した居た(丁稚)▲僕の云つた通り中檢では發行した入場券を半數も回收し得なかつた相だが失敬なことだと思ふ夫れで居て大入なりし爲めに場外に入り得ざりし客が數百名もあつた程だと自慢して居る始末にならない餓鬼どもだ(土ン百姓)▲此の頃水道の水が甚だ濁つて居つて困ります別段害ではないでしようか(官舍の下女)▲韓國に於ては警察官がスリや竊盜と結託して居た事實が許かれたが當地では其樣な事がない大に自慢するに足る(雲の上人)

●天氣豫報(自七日午後六時至八日午後六時)

南西の風曇後晴

六日(華氏) 最高溫度 七一、六 最低溫度 六二、六

アサヒビール サッポロビール

廣告

宮內省御用

結構を旨とし大勉强仕候也

古今美術書畫表裝 金銀屛風襖洋式天井張

壽町二丁目

表具師 松月堂 電話千三番

荒物世帶道具一切
大坂合製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替郵便を以て御送付申上候尙弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜 アサヒサッポロ麥酒 並に買次業

京城本町六丁目 西崎嘉七本店 電話長二一〇番(二ヵ又は二) 振替貯金口座東京(九四一七番)

登録商標 外用塗擦 治瘡藥

最大瓶 一圓二十錢 大瓶 六十錢 中瓶 三十五錢 小瓶 二十錢

○せんしんたむし○なます○せにがさ○いんきんたむし○しらくも○くさかぶり○みずがさ○みずむし○ひせんがさ○がんがさ○しもやけ○うるしまけ 其他皮膚病一切に特效あり

右は弊店世に傳ふる處の靈藥にして皮膚病一切に用ひて卓效あり從來此によりて回春の幸福を得たるもの遠近老若其數頗る多し今回大方諸君子の懇請默しがたく材料を精選し秘傳の醫學に照らし加味鹽梅調劑を正確にし官許を得弘く世に發賣せんとす世の皮膚病に惱める士女願はくは一度本劑を試用し効果の顯著なるを御實驗御高評の程奉願上候

調劑發賣元 仁風堂 韓國京城南部壽町一丁目浦尾旅館 浦尾きち

入札拂下

一、木材 六千九百三十四本

右賣拂ス買受望ノ者ハ八日以後ノ官報ヲ見ヨ

隆熙三年七月 農商工部會計課

中元御進物用品荷揃仕候

京城本町一丁目 青木堂 電話四一〇番

中元御進物用品荷揃仕候

西洋酒及び食料品食器具 シガーシガレット舶來化粧品 西洋菓子並にビスケット

六月(歐洲航路郵船セグラ號搭載)新輸入

前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前 江頭眼科醫院 (電話三三)

自轉車大安賣

角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門横

歯科專門醫院

京城本町二丁目百卅銀行横 歯科醫動六等 野田應治 (電話一〇四七番)

店舖至急讓受けたし

營業の大小及場所を問はず成べく秘密を要す直接御申込みあれ

京城長谷川町二丁目 坂本兵太郎事務所 (電話千百十四番)

土管瓦煉瓦

土管 陶榮商店の販賣する土管は模範的工場に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり

瓦 陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり

煉瓦 陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品にして他に卓越せる當販賣元の最も誇とする良品なり

右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候

陶磁器卸小賣 官製煙草元賣捌 土管瓦煉瓦販賣元

京城本町二丁目 (肥) 陶榮商店 (電話百十三番)

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

各種洗濯石鹸
專門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、鑛山、水道、船舶、諸工業用
京城□□町二丁目
(電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求妻　前途有望の青年月收五〇容色の美醜と貧富を問はず心身の頗る健全にして同情心の篤き淑を周旋す　姓名在社(一九三)

●事務員　希望知人年二十八多年會社の本店營業部に勤務の經驗あり志想堅實尤も指圖的人物薄給にても不苦　姓名在社(一九四)

中學校卒業廿歳會計事務に心得あり會社及商店に被雇たし　氏名在社(一九二)

廣岡孝一君に告ぐ　住所番戸委細御通知ありたし　(保)

物件部

●貸向露店　旭町一民團役所燒跡附近にて貸向恰好の露店二箇所あり希望者は至急申込あれ　氏名在社(一九五)

廣告

入○院○隨○意
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
各○科○診○療

消毒防臭劑
臺灣總督府專賣局製劑
デシン
衛生上確實 用法簡便 無毒安全 價格低廉
發明 藥學博士下山順一郎先生
發賣元 神戸 後藤商店
代理店 京城 新井藥房

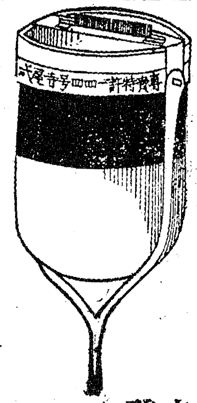
謹啓陳者時下炎暑の候益々御清榮奉賀候次て小生儀從來京城明治町に於て時計店罷在一方ならぬ御愛顧を蒙り候段難有奉謝候就ては今回平壤へ移轉候に付御地營業中修繕時計の殘部は本町三丁目田中時計店へ依托致し置き候に付不取敢廣告仕候也
七月六日
平壤理事廳通
金銀細工商 櫻井初平

今般都合に依り明治町二丁目百三十一番戸より左記の場所に轉居從前の通り懇切を旨となし教授可仕尚ほ規則書入用の御方は郵券二錢御封入被下候得は直ちに御送附可申上候
京城南山町三丁目三十番戸
和洋裁縫料理 野村さわ

本所は江湖の依頼に應じ誠實迅速に鑛物鑑定及分析に從事す
手續書は郵券一錢五厘御送付次第送呈す
擔當者は元鑛山監督分拆署技師粟野德一
鐘路通一丁目
漢城鑛物分析所
(電話二三八番)

名譽銀牌受領
キリンビール

手撰石拔特別精白米
米利堅粉菓子粉特等粉
櫻麥挽割麥豆類其他雜穀
宅合名會社醸造清酒特約
茂木醸造白印醤油特約
大日本麥酒會社製品特約
洋酒洋菓子和洋罐詰瓶詰類
宇治銘茶紅茶コーヒー類
味噌漬物砂糖乾物海産物
眞綿小袖綿綿蒲團綿類
雨傘麻裏足袋石鹸諸雜貨
京城明治町一丁目
牧野豊田商店
附屬 牧野電力精米所
工場 牧野電力製粉所
(電話二五三番)

●●衛生を重する人は本器を試よ●●
●專賣特許寺尾式蠅取器は……從來の蠅取器の如く蠅の入を待つ必用なし
●專賣特許寺尾式蠅取器は……如何なる高所にても使用せらる、便あり


寺尾式ハイ取器
發賣元
京城南大門外古市町四十二番戸(停車場前)
三友商會
●專賣特許寺尾式蠅取器は……從來の蠅取器の如く酒等の必用なく少量の石油にて事たる
●專賣特許寺尾式蠅取器は……從來の蠅取器より便利にて價格又低廉なり
●●經濟を重する人は本器を試よ●●

營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
諸官衙御用品調達 各學校御用品調達
委托販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十三番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白消化 脂肪消化 ヂゲスチン
右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元
京城光化門通
大島專藏

新茶賣出し
卸 小賣

京城本町五丁目
富士の里茶舖
電話九九七番

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路
(元花屋跡)
かめ屋
▲懇切の下宿▼

銘酒

仁川港
釀造元 大森酒場

韓國一手發賣元
NA
永島商行
京城日の出町一丁目
(電話架設中)

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目電話三四四番
山村商店
龍山元町一丁目電話三四八番
中村運送店

蘭、萬年青、西洋葵、花類、盆栽
販賣及貸鉢
貸鉢料一ヶ月卅錢
並に野菜類卸小賣
龍山鐵道官舍第八十九號
菜花園

東洋總代理店

電話壹壹八〇九四番

廣告
◉市場は七月五日開業毎朝四時より十二時迄
◉本市は農商業家聯合の販賣場なるを以て品質新鮮價格低廉なり
◉本市組合には日韓各地方よりの委托販賣及毎朝青物果實類の競賣をなす
○京城青物市場開業
◉市場には赤帽子チゲグンを置き從來の如き不當なる配達料金强請の惡弊を一掃すべし
◉市場には誠實なる指定仲買人あるを以て市場事務所に電話の注文に應じ速刻御用達をなさしむる便利あり
明治町二丁目
京城青物市場組合
電話千四十九番

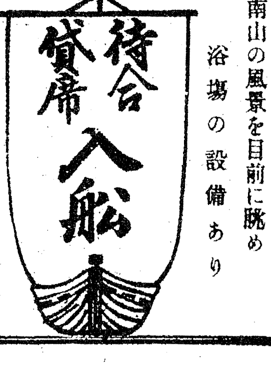
時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話長一〇七番)

支店開業御披露
京城南山町四丁目一番戸(花月の通り)
藪蕎麥支店
(電話九一二番)
今般右の處へ支店開業仕候間本店同樣御引立御愛顧の程奉希候

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

特約販賣自製
漬物味噌醤油製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、㊀精酢、穀物麪類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

牛馬犬豚治療所(入院隨意)
京城明治町三丁目(電話四二七番)
小川家畜病院
獸醫 小川龜太郎

南山の風景を目前に眺め
浴場の設備あり
京城南山町二丁目


馬車配達
●●滋養と牛乳●●
純良
牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●●衛生と消毒●●

◉氣候變化=牛乳
◉牛乳=純良=消毒
韓國畜産株式會社
南大門外(電話八八番)

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話三九番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 八月一日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 八月五日正午時出
●大連、太沽、牛莊行 山東丸 七月二十日午前五時出
●大連、太沽、牛莊行 酒田丸 七月二十二日正午
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 七月二十八日午後
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金五十錢▲三ヶ月前金壹圓四十錢▲六ヶ月前金二圓七十錢▲郵稅一ヶ月金六錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲特號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番